



## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09181692 A**(43) Date of publication of application: **11.07.97**

(51) Int. Cl.

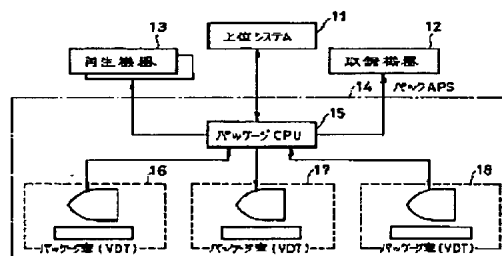
**H04H 7/00****H04N 5/222**(21) Application number: **07334536**(71) Applicant: **NEC ENG LTD**(22) Date of filing: **22.12.95**(72) Inventor: **EBIHARA TOMOKO****(54) AUTOMATIC PACKAGE PROGRAM  
CONTROLLER**

(57) Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an automatic package program controller with less errors of overlap use by erecting a flag for indicating that it is in use in an equipment number table held in a package CPU and recognizing a usable equipment at a glance.

**SOLUTION:** The package CPU 15 receives program data to be packaged from a host system 11 and assigns and connects a recording equipment 12 and a reproducing equipment 13 shared by a package room by commands from the VDT (data editing device) of the package rooms 16-18. The operator of the package room selects a recording program, confirms the usable equipment by looking at the equipment number table, erects the flag in the equipment number table, issues an equipment number change command and changes the equipment number of the reproducing equipment 13. Thus, the equipment in use is displayed on the equipment number table and the overlap use from the other package room is eliminated.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-181692

(43) 公開日 平成9年(1997)7月11日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 H 7/00			H 0 4 H 7/00	
H 0 4 N 5/222			H 0 4 N 5/222	Z

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平7-334536

(22) 出願日 平成7年(1995)12月22日

(71) 出願人 000232047

日本電気エンジニアリング株式会社  
東京都港区芝浦三丁目18番21号

(72) 発明者 海老原 智子

東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気  
エンジニアリング株式会社内

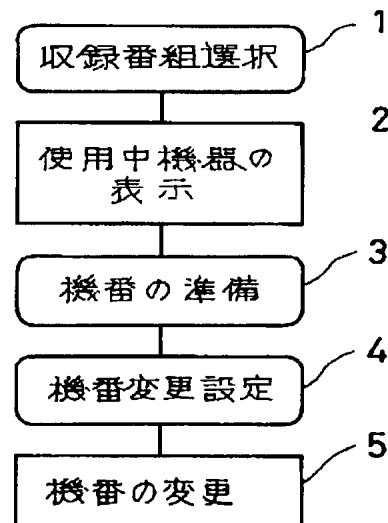
(74) 代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54) 【発明の名称】 パッケージ自動番組制御装置

(57) 【要約】

【課題】 番組のパッケージ作業時に、V D T の上で機器 (機番) の使用状況が判り、使用可能な (空いている) 機器 (機番) がアサインできるようにする。

【解決手段】 収録番組を選択 (ステップ1) すると、機番 (変更) テーブルを見て (ステップ2)、使用可能な (空いている) 機器 (機番) を確認 (ステップ3)、機番 (変更) テーブルにフラグをたてる形で、パッケージCPU15に機番変更指令 (ステップ4) を出し、再生機器13の機番を変更 (ステップ5) する。



☐ --- オペレータが実施

☐ --- CPUが実施

# 【特許請求の範囲】

【請求項1】 テレビジョン放送局の番組のパッケージ自動番組制御装置であって、使用中の機器を機番テーブル上に表示する表示手段とを含むことを特徴とするパッケージ自動番組制御装置。

【請求項2】 前記表示手段は、前記機番テーブルの機番名にフラグをたてるようにしたことを特徴とする請求項1記載のパッケージ自動番組制御装置。

## 【発明の詳細な説明】

### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はパッケージ自動番組制御装置に関し、特にテレビジョン放送局における番組一本化制御用パッケージ自動番組制御装置に関する。

### 【0002】

【従来の技術】テレビジョン放送局にコンピュータ（EDPS）が導入されて、番組の運行送出が自動番組制御装置（APS）によって自動的に行われるようになってすでに久しい。その後、CM（コマーシャルメッセージ）の一本化送出（一日分あるいは半日分のCMを一本のビデオテープに連続的に記録しておいて、一台のVTRを再生／停止を繰り返す形で、一日あるいは半日のCMの放送を行う）が行われ、また、ニュース番組や一部の生番組、緊急番組を除いて、（特に夜間は）すべての番組をVTRから出すようにもなった。

【0003】一つの番組を一本のビデオテープにまとめて上げることを番組一本化（パッケージ）と呼ぶ。図4に示すように、例えば一日に60本（番組）程度の番組をパッケージする必要がある放送局の場合は、3程度のパッケージ室16～18が設けられる。各パッケージ室には、ディスプレイを備えたコンピュータターミナルであるVDT（データ編集装置）が置かれ、パッケージ作業を統括するパッケージCPU15につながる。各パッケージ室16～18のVDTとパッケージCPU15を含んだシステム全体をパッケージ自動番組制御装置（パッケージAPS）14と呼ぶ。

【0004】パッケージCPU15は、各パッケージ室16～18のVDTからの指令で、収録機器（通常VTR）12及び再生機器（VTR、フィルムプロジェクタ、テレシネ装置等）13をアサインして接続し、各パッケージ室16～18から直接制御できるようにする。パッケージ作業の主たる部分は、各パッケージ室16～18にいるオペレータにより行われる。

【0005】パッケージCPU15はまた、上位システム（放送局全体の番組管理を行っているEDPS）11から、パッケージすべき番組データを受ける。

【0006】収録機器12は通常、機器故障が発生したような場合を除いて、例えばパッケージ室16にはVTR1といった形であらかじめアサインされていて、再生機器13は各パッケージ室16～18に共用になっている。

【0007】図5に示すように、従来、例えばパッケージ室16のオペレータは、上位システム11からのパッケージすべき番組データリストを見て、手元にきているビデオテープやフィルム、スライド、オパーク等の番組素材を確認して、どの番組から手を付けるかを決定する（ステップ1）。

【0008】再生機器13は、図6のパッケージCPU15に保持されている機番（変更）テーブルに示すように、機種A～Dは例えばVTR、フィルムプロジェクタ、スライドプロジェクタ、オパークプロジェクタ等で、それぞれ何台かずつあって、それぞれの機器にa1～a5、b1～b5、c1～c5、d1～d5といった形の機番が付いている。

【0009】図5に戻って、パッケージ室16には基本的には例えば機番a1、b2、c3、d4の再生機器13が割り当てられているが、再生機器13は共用になっているので、実際にどの機番の再生機器13が使用可能かを、他のパッケージ室へ行くなどの方法で確認（ステップ6）して、必要な再生機器13の機番を確保（ステップ3）し、再生機器13の機番変更をパッケージCPU15に設定（ステップ4）、再生機器13の機番を変更（ステップ5）する。その結果、パッケージ室16は、変更した機番の再生機器13を使ってパッケージ作業を行うことになる。

### 【0010】

【発明が解決しようとする課題】上述の従来のパッケージ自動番組制御装置では、再生機器が設置されている機器室へ、パッケージのための番組素材（ビデオテープ、フィルム、スライド、オパーク等）を準備（ビデオテープをVTRに挿入したり、フィルムをプロジェクタに挿着したりすること）に行く際、どの機番の装置が空いているのかを判定できず、わざわざ他のパッケージ室まで行って使用状況を確認する必要があった。このため、作業準備に時間がかかる上、確認漏れで、ある機番の機器を他のパッケージ室と重複して使用してしまうといったミスが発生する可能性があった。

【0011】本発明の目的は、重複使用といったミスのないパッケージ自動番組制御装置を提供することである。

### 【0012】

【課題を解決するための手段】本発明によるテレビジョン放送局の番組のパッケージ自動番組制御装置は、使用中の機器を機番テーブル上に表示する表示手段とを含むことを特徴とする。

### 【0013】

【発明の実施の形態】本発明の作用は次の通りである。パッケージCPUに保持されている機番（変更）テーブルに、使用中を示すフラグをたてて、一目で使用可能な機番が判るようにする。

【0014】以下に、本発明の実施例について図面を参

照して説明する。

【0015】図1は本発明によるの実施例を示すフローチャートであり、図5と同等部分は同一符号にて示している。図2は本発明の実施例に使用される機番(変更)テーブルの一例を示し、図3に他の一例を示す。本発明の実施例はハードウェアとしては、図4に示すパッケージ自動番組制御装置と同様であり、重複する説明は省略する。

【0016】図1において、収録番組を選択(ステップ1)すると、図2の機番(変更)テーブルを見て(ステップ2)、使用可能な(空いている)機器(機番)を確認(ステップ3)、機番(変更)テーブルにフラグをたてる形で、パッケージCPU15に機番変更指令(ステップ4)を出し、再生機器13の機番を変更(ステップ5)する。

【0017】図2の機番(変更)テーブルは、図6の従来の機番(変更)テーブルに比べ、使用状況を示すフラグの欄があり、例えば使用中は1、未使用(空き)は0がたつので、一目で機器(機番)の使用状況が判る。

【0018】図3に示す機番(変更)テーブルの場合は、あらかじめ仮にアサインされている機番があつて、その右に空いていれば使用(登録)可能な全機番名が記されていて、使用中のフラグがたっている機番は反転表示される。機番にフラグをたてるときは、カーソルを移動させてクリックすることで使用機番を決定すると共に、パッケージCPU15にアサイン処理の指令を出す。すでに他のパッケージ室からアサインされ、フラグのたっている機番は選択できない。なお、機番をアサイ \*

\*ンすると、「機番」欄はアサインされた機番に自動的に変更される。

【0019】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、パッケージ自動番組制御装置において、機番(変更)テーブルを利用して、フラグの有無により使用可能な(空いている)機器(機番)を確認すると共に、フラグをたてることによりパッケージCPUに機器(機番)のアサインを指令すると同時に、他のパッケージ室からの機器(機番)の重複使用を排除できる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例の制御フローチャートである。

【図2】本発明の実施例の場合の機番(変更)テーブルの一例を示す。

【図3】本発明の実施例の場合の機番(変更)テーブルの他の一例を示す。

【図4】パッケージ自動番組制御装置の一例を示すブロック図である。

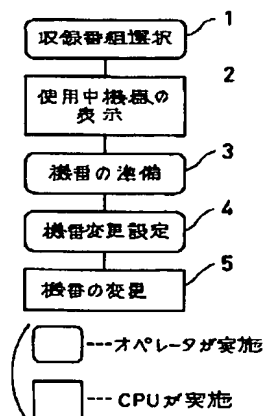
【図5】従来のパッケージ自動番組制御装置の制御フローチャートの一例を示す。

【図6】従来の機番(変更)テーブルの一例を示す。

【符号の説明】

- 11 上位システム
- 12 収録機器
- 13 再生機器
- 15 パッケージCPU
- 16～18 パッケージ室

【図1】



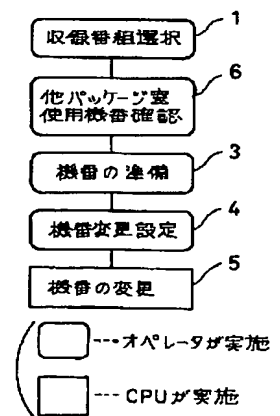
【図2】

機種	再生機番									
	機番	フラグ	機番	フラグ	機番	フラグ	機番	フラグ	機番	フラグ
A	a 1	1	a 2	0	a 3	0	a 4	0	a 5	0
B	b 1	0	b 2	0	b 3	0	b 4	1	b 5	0
C	c 1	0	c 2	0	c 3	1	c 4	0	c 5	1
D	d 1	1	d 2	1	d 3	0	d 4	0	d 5	0

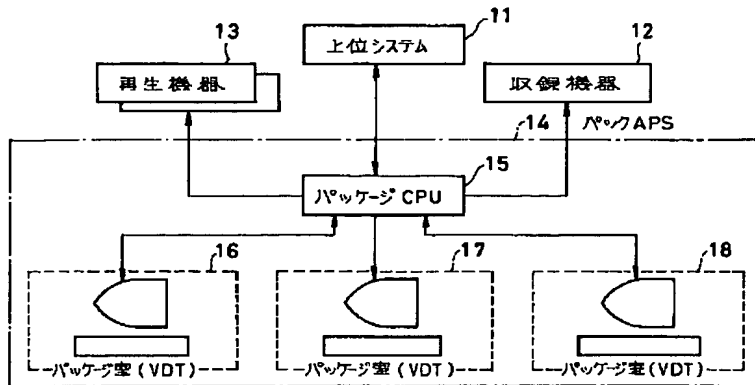
【図3】

機番(変更)テーブル					
機種	機番	登録可能機番名			
A	a 1 : a 1	a 2	a 3	a 4	a 5
B	b 2 : b 1	b 2	b 3	b 4	b 5
C	c 3 : c 1	c 2	c 3	c 4	c 5
D	d 4 : d 1	d 2	d 3	d 4	d 5

【図5】



【図4】



【図6】

機種	再生機番				
A	a 1	a 2	a 3	a 4	a 5
B	b 1	b 2	b 3	b 4	b 5
C	c 1	c 2	c 3	c 4	c 5
D	d 1	d 2	d 3	d 4	d 5